

# 大田市職員の給与・定員管理等について

## 1. 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

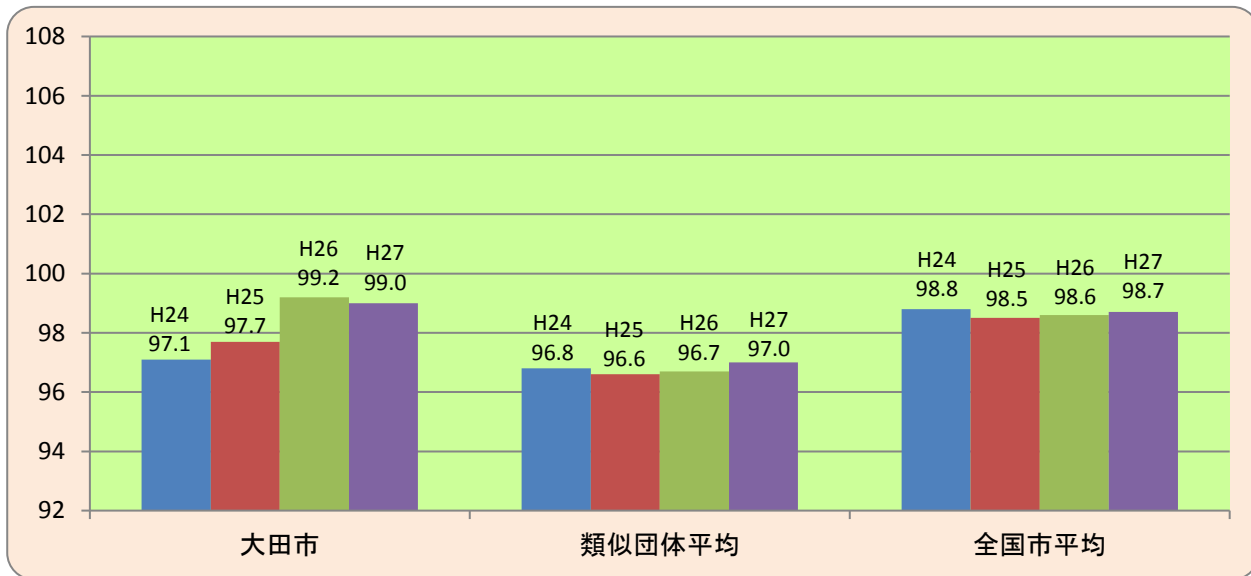
区分	住民基本台帳人口 (平成27.1.1)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)前年度 の人件費比率
	人	千円	千円	千円	%	%
26年度	37,257	25,459,064	254,107	4,338,845	17.0	16.5

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				1人当たり給 与費B/A	1人当たり給与 費(類似団体)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
26年度	445	1,739,108	301,235	647,923	2,688,266	6,041	5,785

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数である。

### (3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。  
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。  
3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 平成27年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

- ① 「大田市職員の給料の特例に関する条例」に基づく、減額措置（平成18年度～平成25年度）の終了に伴いラスパイレス指数が上昇したものの。

### (4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

#### ① 給料表の見直し

[  実施  未実施 ]

国の見直し内容を踏まえ平均2%引下げ。（平成27年4月1日実施）  
激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

#### ② その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、見直しを実施。（平成27年4月1日実施）

## 2. 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成27年4月1日現在）

#### ① 一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
大 田 市	44.3 歳	340,990 円	411,984 円	362,833 円
島 根 県	44.6 歳	335,285 円	410,003 円	361,376 円
国	43.5 歳	334,283 円	— 円	408,996 円
類似団体	42.5 歳	319,751 円	378,183 円	345,434 円

#### ② 技能労務職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
大 田 市	51.2 歳	314,264 円	331,891 円	321,973 円
内運転手	***	*****	*****	*****
内校務技能員	46.8	312,200	330,675	321,075
内保育園調理員	51.4	312,500	332,517	320,683
島 根 県	59.1 歳	380,502 円	421,216 円	387,814 円
国	50.2 歳	289,141 円	— 円	328,318 円
類似団体	49.8 歳	313,072 円	339,548 円	325,649 円

(注) 1 運転手については、1人のため「個人情報保護」の観点からアスタリスク「\*\*\*」としている。

#### ③ 消防職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
大 田 市	34.8 歳	273,600 円	342,114 円	295,181 円
類似団体	— 歳	— 円	— 円	— 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成27年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。  
 3 「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

### (2) 職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		大 田 市	島 根 県	国
一 般 行 政 職	大 学 卒	163,600 円	173,903 円	174,200 円
	高 校 卒	142,100 円	141,858 円	142,100 円
技 能 労 務 職	高 校 卒	139,500 円	148,746 円	— 円
消 防 職	大 学 卒	163,600 円	— 円	— 円
	高 校 卒	142,100 円	— 円	— 円

(3) 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額状況(平成27年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	円 254,529	円 339,625	円 *****	円 401,900
	高校卒	円 —	円 *****	円 362,400	円 384,050
技能労務職	高校卒	円 —	円 —	円 —	円 *****
消防職	大学卒	円 *****	円 —	円 —	円 —
	高校卒	円 227,400	円 *****	円 —	円 388,700

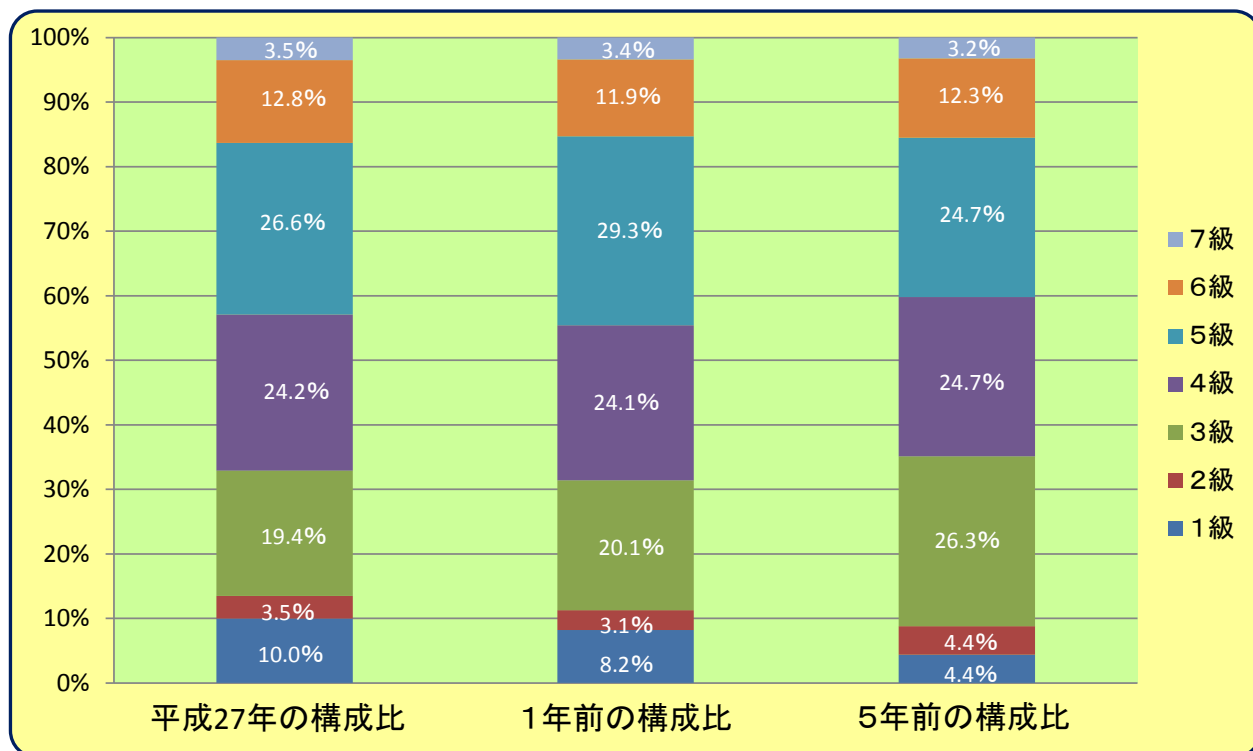
(注) 個人情報保護の観点から該当者が1人の場合は、アスタリスク「\*\*\*」、該当者なしの場合は「—」としている。

### 3. 一般行政職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成27年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	定型的な業務を行う主事もしくは技師の職務またはこれらに相当する職務	29人	10.0%	137,600円	244,900円
2級	高度な知識もしくは経験を必要とする業務を行う主事もしくは技師の職務またはこれらに相当する職務	10人	3.5%	187,700円	301,900円
3級	主任主事もしくは主任技師の職務またはこれらに相当する職務	56人	19.4%	223,900円	347,700円
4級	係長の職務またはこれに相当する職務	70人	24.2%	258,300円	378,700円
5級	課長補佐の職務またはこれに相当する職務	77人	26.6%	285,000円	390,700円
6級	課長の職務またはこれに相当する職務	37人	12.8%	315,800円	407,900円
7級	部長の職務またはこれに相当する職務	10人	3.5%	360,100円	442,600円

- (注) 1 大田市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



#### (2) 昇給への勤務成績の反映状況

休職・休業・懲戒処分者等に昇給延伸等の措置を講じている。

## 4. 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当

大 田 市	島 根 県	国
1人当たり平均支給額（26年度） 1,469 千円	1人当たり平均支給額（26年度） 1,512 千円	1人当たり平均支給額（26年度） — 千円
(26年度支給割合) 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.50月分 (1.40月分) (0.75月分)	(26年度支給割合) 期末手当 2.40月分 勤勉手当 1.40月分 (1.25月分) (0.75月分)	(26年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.50月分 (1.45月分) (0.70月分)
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 15~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 10~25%

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合である。

#### 【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況

休職・休業・懲戒処分者等に減額措置を講じている。

### (2) 退職手当（平成27年4月1日現在）

大 田 市			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2~20%加算）			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2~45%加算）		
1人当たり平均支給額 19,115千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額である。

### (3) 地域手当（平成27年4月1日現在）

支給実績（26年度決算）	0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	— 円		
支給対象者	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
—	—	—	—

### (4) 特殊勤務手当（平成27年4月1日現在）

支給実績（26年度決算）	2,233 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	20,114 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（26年度）	20.0 %		
手当の種類（手当数）	9		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症防疫作業手当	感染症防疫作業従事職員	感染症防疫に従事した場合	日額 300円
行旅死病人取扱業務手当	行旅死病人業務従事職員	行旅死亡人を取扱った場合	1件 3,000円
		行旅病人を取扱った場合	1件 1,500円
市税・国民健康保険料・介護保険料徴収業務手当	市税・国民健康保険料・介護保険料徴収担当職員	徴収外勤業務	日額 200円
		財産差押業務	1件 300円
生活保護業務手当	福祉事務所職員	生活保護法による保護業務	月額 2,000円

除雪作業業務	特殊作業車運転手	正規の勤務時間外の除雪業務	日額 300円
		暴風雪警報・大雪警報発令下の作業	日額 150円
用地交渉業務手当	公共工事担当課職員	正規の勤務時間外の用地交渉業務	日額 200円
負担金・使用料等徴収事務手当	負担金・使用料等徴収担当職員	徴収外勤業務	日額 200円
消防業務手当	消防職員	救急出動業務	1件 300円
		救命措置業務	1件 300円
		火災出動業務	1件 300円
		災害等出動業務	1件 300円
衛生処理場業務手当	衛生処理場職員	時間外緊急出動業務	日額 300円
		危険物取扱業務	日額 200円
		し尿、ごみ処理業務	日額 200円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（平成26年度決算）	92,316 千円
職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	239 千円
支給実績（平成25年度決算）	104,381 千円
職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	215 千円

(6) その他の手当（平成27年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との差異	国の制度と異なる内容	支給実績 (26年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額
管理職手当	管理監督の地位にある職員に支給 部長級 月額 66,400円 課長級 月額 41,600円	一部異なる	支給割合が異なる	千円 30,071	円 578,292
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 配偶者 13,000円 1人（配偶者以外） 6,500円 1人（配偶者なし） 11,000円 特定期間（満16歳年度初めから満22歳年度末）の子の加算 5,000円	同じ	—	千円 51,205	円 201,596
住居手当	住宅を借りて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 借家・借間居住者 月額23,000円以下の家賃 家賃—12,000円 月額23,000円を超える家賃 (家賃—23,000円) × 1/2 + 11,000円 最高支給限度額 27,000円	同じ	—	千円 21,603	円 260,278

通勤手当	通勤のため交通機関を使用又は交通用具を利用する場合に支給（ただし、通勤距離が2km未満の場合を除く） 交通機関利用者 最高支給限度額 55,000円 交通用具使用者 2km～40km以上 3,900円～23,900円	異なる	交通用具使用者の距離区分が異なる	千円 40,946	円 119,376
単身赴任手当	異動に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する職員に支給 30,000円+配偶者の住居との間の交通距離に応じた加算額 加算額 6,000円～58,000円	同じ	—	千円 276	円 276,000
休日勤務手当	休日等（祝日法による休日、年末年始の休日）において、正規の勤務時間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×135/100	異なる	勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる	千円 21,571	円 256,799
夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給 夜間勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×25/100	異なる	勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる	千円 5,088	円 70,666
宿日直手当	宿日直を命ぜられた職員に支給（時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない） 一般の宿日直 4,200円	同じ	—	千円 223	円 10,600
管理職員 特別勤務手当	臨時又は緊急の必要その他公務の運営上の必要により、週休日、休日または平日の午前0時から午前5時までの間に勤務した管理職員に支給 1回につき4,000～6,000円 実働時間が6時間を超える場合 6,000円～9,000円	同じ	—	千円 384	円 16,696

## 5. 特別職の報酬等の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料	市 長	780,000	円	(参考) 類似団体における 最高/最低額 989,000/259,000
	副 市 長	660,000	円	816,000/325,000
	教 育 長	550,000	円	—
報 酬	議 長	390,000	円	545,000/230,000
	副 議 長	330,000	円	474,000/200,000
	議 員	310,000	円	442,000/180,000
期 末 手 当	市 長	(平成27年度支給割合) 2.90月分		
	副 市 長	(平成27年度支給割合) 2.90月分		
退 職 手 当	市 長	(算定方式) 78万円×在職年数×4.5	(1期の支給額) 14,040,000円	(支給時期) 任期毎
	副 市 長	66万円×在職年数×2.7	7,128,000円	任期毎

(注) 1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年）努めた場合における退職手当の見込み額である。 ※在任期間に端数がある場合は月額支給する。



## 7. 職員数の状況

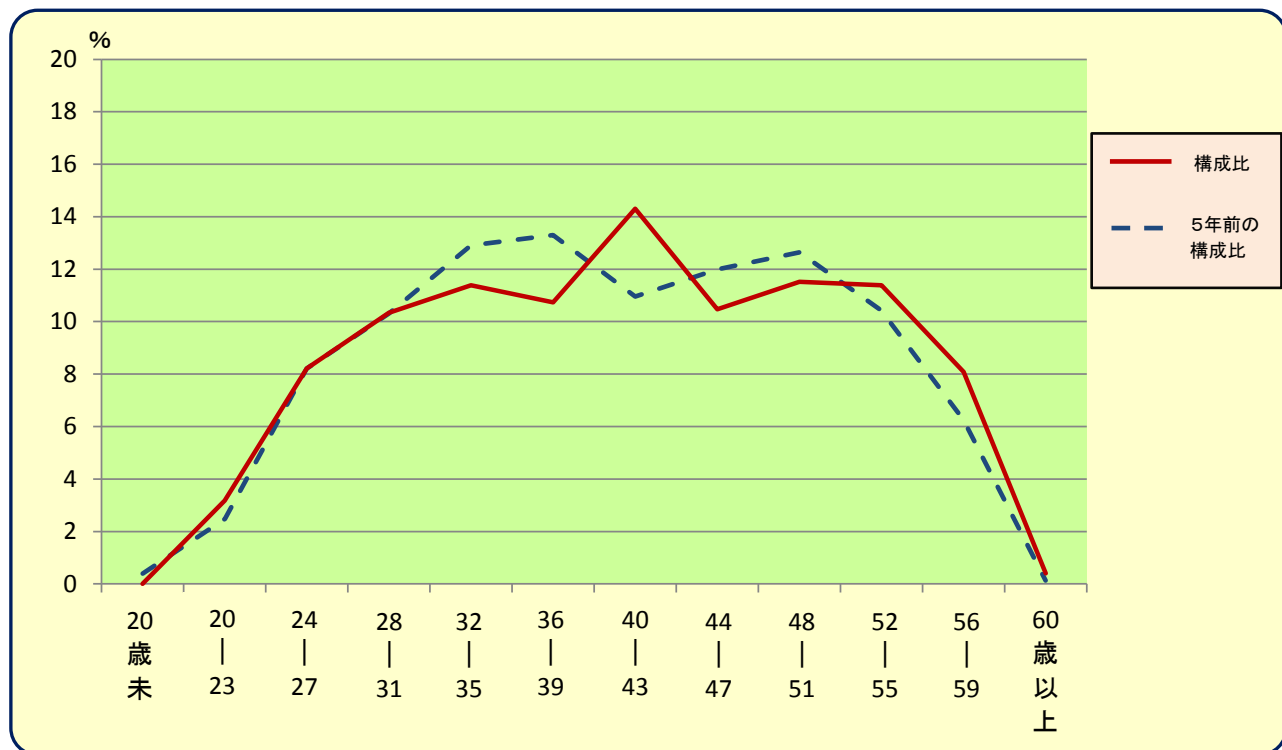
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成27年	平成26年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	5	5	0	保険年金課を市民課へ統合 収納管理係を徴収係へ統合  農業担当部門の減  建築担当・都市計画部門の減 退職不補充、民生担当部門の減
		総務	86	87	▲1	
		税務	20	21	▲1	
		労働	1	1	0	
		農林水産	26	27	▲1	
		商工	15	15	0	
		土木	33	35	▲2	
		民生	83	85	▲2	
	衛生	40	40	0		
		計	309	316	▲7	〈参考〉 人口1万人当たり職員数 84.8人 類似団体の人口1万人当り職員数 72.05人
	教育	45	46	▲1	管理係・総務学事系の統合 消防部門の増	
	消防	84	83	1		
	小計	438	445	▲7	〈参考〉 人口1万人当たり職員数 120.3人 類似団体の人口1万人当り職員数 93.47人	
公営企業等 会計部門	病院	269	251	18	看護師・助産師・医療技術者等の増	
	水道	20	19	1		
	下水道	7	7	0		
	その他	21	21	0		
	小計	317	298	19		
合計		755 〔 923 〕	743 〔 923 〕	12 〔 0 〕	〈参考〉 人口1万人当たり職員数 207.3人	

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員である。  
 2 〔 〕内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成27年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	合計
職員数	0人	24人	62人	78人	86人	81人	108人	79人	87人	86人	61人	3人	755人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	年度	22年	23年	24年	25年	26年	27年	過去5年間の増減数(率)
一般行政		343	332	320	321	316	309	▲34 (▲9.9)
教育		52	50	49	49	46	45	▲7 (▲13.5)
消防		77	84	83	84	83	84	7 (9.1)
普通会計計		472	466	452	454	445	438	▲34 (▲7.2)
公営企業等会計計		295	288	292	291	298	317	22 (7.5)
総合計		767	754	744	745	743	755	▲12 (▲1.6)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数

## 8. 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める職員 給与費比率 B/A	(参考) 前年度 の給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
26年度	1,012,341	△ 92,509	92,843	9.2	6.7

区 分	職員数 A	給 与 費				1人当たり給 与費B/A	1人当たり給与 費(市町村平 均)
		給 料	職員手当	期末勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
26年度	15	56,988	16,107	20,912	94,007	6,267	6,219

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成26年3月31日現在の人数である。

##### イ 特記事項

普通会計職員と同じ

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成27年4月1日現在)

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
	歳	円	円	円
水道事業	38.5	295,913	363,433	319,947
(参考) 大田市一般行政職	44.3	340,990	411,984	362,833

#### ③ 職員手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

水 道 事 業		大 田 市 ( 一 般 行 政 職 )	
1人当たり平均支給額(26年度) 1,394 千円		1人当たり平均支給額(26年度) 1,469 千円	
(26年度支給割合)		(26年度支給割合)	
期末手当 2.55月分 (1.40月分)	勤勉手当 1.50月分 (0.75月分)	期末手当 2.55月分 (1.40月分)	勤勉手当 1.50月分 (0.75月分)
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~15%		職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~15%	

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### イ 退職手当(平成27年4月1日現在)

水 道 事 業			大 田 市 ( 一 般 行 政 職 )		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置(2~20%加算)			定年前早期退職特例措置(2~20%加算)		
1人当たり平均支給額 ***** 千円			1人当たり平均支給額 19,115千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額である。

(注) 個人情報保護の観点から該当者が1人の場合は、アスタリスク「\*\*\*」、該当者なしの場合は「-」としている。

ウ 特殊勤務手当（平成27年4月1日現在）

支給実績（26年度決算）				82 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）				7,464 円
職員全体に占める手当支給職員の割合（26年度）				73.3 %
手当の種類（手当数）				2
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価	
水道業務手当	水道職員	時間外に緊急出勤した場合	日額 300円	
		危険物（薬品）を取扱った場合	日額 200円	
負担金・使用料等徴収事務手当	水道職員	徴収外勤業務	日額 200円	

エ 時間外勤務手当

支給実績（平成26年度決算）	8,274 千円
職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	552 千円
支給実績（平成25年度決算）	8,665 千円
職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	619 千円

オ その他の手当（平成27年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との差異	国の制度と異なる内容	支給実績（26年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額
管理職手当	管理監督の地位にある職員に支給 部長級 月額 66,400円 課長級 月額 41,600円	一部異なる	支給割合が異なる	千円 1,296	円 648,000
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 配偶者 13,000円 1人（配偶者以外） 6,500円 1人（配偶者なし） 11,000円 特定期間（満16歳年度初めから満22歳年度末）の子の加算 5,000円	同じ	—	千円 2,087	円 231,914
住居手当	住宅を借りて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 借家・借間居住者 月額23,000円以下の家賃 家賃—12,000円 月額23,000円を超える家賃 (家賃—23,000円) × 1/2 + 11,000円 最高支給限度額 27,000円	同じ	—	千円 1,158	円 289,500
通勤手当	通勤のため交通機関を使用又は交通用具を利用する場合に支給（ただし、通勤距離が2 km未満の場合を除く） 交通機関利用者 最高支給限度額 55,000円 交通用具使用者 2km~40km以上 3,900円~23,900円	異なる	交通用具使用者の距離区分が異なる	千円 1,305	円 100,362
単身赴任手当	異動に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する職員に支給 30,000円+配偶者の住居との間の交通距離に応じた加算額 加算額 6,000円~58,000円	同じ	—	千円 0	円 —

休日勤務手当	休日等（祝日法による休日、年末年始の休日）において、正規の勤務時間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×135/100	異なる	勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる	0 千円	— 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×25/100	異なる	勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる	0 千円	— 円
宿日直手当	宿日直を命ぜられた職員に支給（時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない） 一般の宿日直 4,200円	同じ	—	0 千円	— 円
管理職員特別勤務手当	臨時又は緊急の必要その他公務の運営上の必要により、週休日、休日または平日の午前0時から午前5時までの間に勤務した管理職員に支給 1回につき4,000～6,000円 実働時間が6時間を超える場合 6,000円～9,000円	同じ	—	0 千円	— 円

(2) 病院事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める職員 給与費比率 B/A	(参考) 前年度 の給与費比率
26年度	千円 4,439,758	千円 ▲ 561,757	千円 2,549,309	% 57.4	% 58.1

区分	職員数 A	給 与 費				1人当たり給 与費B/A
		給 料	職員手当	期末勤勉手当	計 B	
26年度	人 251	千円 888,915	千円 630,538	千円 326,113	千円 1,845,566	千円 7,353

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数である。

イ 特記事項

普通会計職員と同じ

※ 医療職給料表適用者は、給与の特例(減額)から除外

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成27年4月1日現在)

職 種	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
医 師	歳 52.8	円 487,811	円 1,271,903	円 939,379
国	歳 50.1	円 491,680	円 —	円 820,425
類似団体	歳 45.8	円 583,400	円 1,271,362	円 752,099

職 種	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
看 護 師	歳 38.4	円 276,533	円 328,889	円 291,012
国	歳 46.0	円 314,592	円 —	円 344,120
類似団体	歳 40.4	円 299,395	円 349,885	円 312,287

③ 職員手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

病 院 事 業	大 田 市 ( 一 般 行 政 職 )
1人当たり平均支給額(26年度) 1,259 千円	1人当たり平均支給額(26年度) 1,469 千円
(26年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.55月分 1.50月分 (1.40月分) (0.75月分)	(26年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.55月分 1.50月分 (1.40月分) (0.75月分)
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~15%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成27年4月1日現在）

病 院 事 業			大 田 市 （ 一 般 行 政 職 ）		
（支給率）	自己都合	勸奨・定年	（支給率）	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算）			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算）		
1人当たり平均支給額 5,051千円			1人当たり平均支給額 19,115千円		

（注） 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（平成27年4月1日現在）

支給実績（26年度決算）		19,607千円
支給職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）		1,031,947円
支給対象者	支給率	支給対象職員数
医師	15%	19 人
		国の制度（支給率）
		15%

エ 特殊勤務手当（平成27年4月1日現在）

支給実績（26年度決算）		107,071千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）		519,762円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（26年度）		79.5%	
手当の種類（手当数）		9	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
負担金・使用料等徴収事務手当	病院職員	徴収外勤業務	日額 200円
診療業務手当	病院職員	診療業務	定額分 35,000円～75,000円 診療分 上限 160,000円
救急業務手当	病院職員	宿日直時の外来救急業務	患者1人につき1,000円 宿日直1回につき2,000円
入院受入業務手当	病院職員	入院受入業務	患者1人につき 5,000円
救急呼出待機業務手当	病院職員	救急呼出待機業務	待機1回につき 2,000円～5,000円
分娩業務手当	病院職員	分娩業務	分娩1回につき 30,000円
放射線取扱業務	病院職員	診療放射線業務	日額 230円
夜間看護業務	病院職員	深夜における看護業務	1回 2,000円～8,800円
臨床指導業務	病院職員	臨床指導業務	月額 100,000円

オ 時間外勤務手当

支給実績（平成26年度決算）	67,889千円
職員1人当たり平均支給年額（26年度決算）	308千円
支給実績（平成25年度決算）	54,421千円
職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	257千円



カ その他の手当（平成27年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との差異	国の制度と異なる内容	支給実績 (26年度決算)	支給職員1人当り 平均支給年額
管理職手当	管理監督の地位にある職員に支給 月額 39,500円～137,700円	一部異なる	支給割合が異なる	千円 26,903	円 689,820
初任給調整手当	欠員の補充が困難な医師に支給 月額 5,000～365,500円	同じ	—	千円 61,992	円 3,262,737
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 配偶者 13,000円 1人（配偶者以外） 6,500円 1人（配偶者なし） 11,000円 特定期間（満16歳年度初めから満22歳年度末）の子の加算 5,000円	同じ	—	千円 25,162	円 201,296
住居手当	住宅を借りて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 借家・借間居住者 月額23,000円以下の家賃 家賃－12,000円 月額23,000円を超える家賃 （家賃－23,000円）×1/2 ＋11,000円 最高支給限度額 27,000円	同じ	—	千円 13,667	円 284,729
通勤手当	通勤のため交通機関を使用又は交通用具を利用する場合に支給（ただし、通勤距離が2 km未満の場合を除く） 交通機関利用者 最高支給限度額 55,000円 交通用具使用者 2km～40km以上 3,900円～23,900円	異なる	交通用具使用者の距離区分が異なる	千円 23,327	円 110,033
単身赴任手当	異動に伴い転居し、やむを得ない事情により配偶者と別居し、単身で生活する職員に支給 30,000円＋配偶者の住居との間の交通距離に応じた加算額 加算額 6,000円～58,000円	同じ	—	千円 0	円 0
休日勤務手当	休日等（祝日法による休日、年末年始の休日）において、正規の勤務時間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×135/100	異なる	勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる	千円 26,283	円 162,241
夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した職員に支給 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給与額×25/100	異なる	勤務1時間当たりの給与額の算出方法が異なる	千円 16,534	円 113,247
宿日直手当	宿日直を命ぜられた職員に支給（時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない） 4,200円～30,000円	同じ	—	千円 36,573	円 545,866
管理職員特別勤務手当	臨時又は緊急の必要その他公務の運営上の必要により、週休日、休日または平日の午前0時から午前5時までの間に勤務した管理職員に支給 1回につき2,000～12,000円 実働時間が6時間を超える場合 6,000円～18,000円	同じ	—	千円 284	円 94,666